伐倒及び造材方針書

市場性の高い良材の生産及び造材歩留り向上のため、次の点に留意して実行すること。

- (1) 針葉樹については別添「造材寸法書」を基準とし努めて4.0mの直材を採材し、短尺材の採材は最小限に努めること。
- (2) 広葉樹については、樹種又は用途に応じた長級の採材を行うこととし、画一的な採材は避けること。
- (3) 銘木又はこれに準ずるものは努めて長材を採材し、監督員の指示に基づき材の利用価値、品質向上に努めること。
- (4) 根張り、枝、節、木口断面の挽き違い等については、平滑に切り落とすこと。

はい積み基準

次の事項に留意してはい積みを実行すること。

- (1) はい積みに当たっては、木口を揃えること。
- (2) 荷崩れ防止処置を実施すること。
- (3) 素材のカビおよび虫害等に対して十分配慮すること。
- (4) はい積みを完了したものは、ペンキ等を塗布し完了はいとして明らかにすること。

造材寸法書

福島森林管理署

区分	樹種	採材寸法		採材位 順	用途	備考
		径級 (cm)	長級 (m)			
一般材	スギ	24上	4.00	1	割角ほか	通直なものとする。
		16~22	3.00	2	柱材	
		24上	3.00	3	構造材	
		9~14	4.00	4	構造材	
		9~14	3.00	5	構造材	
		18上	2.00	6	合板ほか	
	ヒノキ	16上	4.00	1	割角ほか	通直なものとする。
		9~14	4.00	2	構造材	
		18上	2.00	3	合板ほか	
	アカマツ	16上	4.00	1	構造材	通直なものとする。
		24上	3.00	2	その他	
		18上	2.00	3	その他	
	カラマツ	20上	4.00	1	構造材	通直なものとする。
		20上	3.00	2	構造材	
		18上	2.00	3	その他	
	その他L	40上	4.20	1	木工ほか	
		30上	3.00	2	〃	
		24上	2.10	3	〃	
低質材	N	6上	2.00	1	パルプ	曲りを含む。
	アカマツ	6上	2.00	1	パルプ	曲りを含む。
	L	24上	2.10	1	パルプ	曲りを含む。
		6上	2.00	2	〃	

(注)・採材については、本寸法書を基準とするが需要の動向に応じ変更することもある。
 ・延寸及び寸法書以外の採材については、その都度指示する。